

地域経済を支える港湾の既存施設の有効活用と災害対応力の強化

政策提言先 国土交通省

政策提言の要旨

- ・地域経済を支える地方の港湾において、輸送コストの縮減、国内基幹産業への重要物資の安定供給や近年増加している外国クルーズ船の安全な受け入れに向けて、整備が完了した岸壁等を最大限に活用することが重要です。このためには防波堤の早期完成を図り、港内の静穏度を向上させる必要があります。
- ・また、港湾施設は、大規模地震時等における津波被害の軽減や、発災後救援・復旧物資輸送の確保に重要な役割を担っていることから、防波堤の粘り強い化を促進する必要があります。このような防災対策は、安全・安心を確保するための未来への投資と考えます。
- ・しかしながら、この事業を進めていくためには莫大な予算が必要であるため、予算の重点配分が不可欠です。

【政策提言の具体的内容】

地域経済を支えるとともに、防災拠点として重要な役割を担う港湾においては、既存プロジェクトや大規模地震に備えた防災・減災事業を推進するために、以下の視点による重点投資が必要と考えます。

(1) 整備が完了した岸壁等を最大限に活用するための防波堤の整備促進

＜港内静穏度の確保＞

高知港（東第1防波堤、南防波堤、東第2防波堤）、宿毛湾港（池島第2防波堤）

(2) 大規模な地震・津波に対し、防災・減災効果を発揮する防波堤の粘り強い化（粘り強い構造への補強）の促進

＜防災・減災機能の強化＞

高知港（東第1防波堤、南防波堤）、須崎港（湾口西・東防波堤）
宿毛湾港（池島第1・第2防波堤）

【政策提言の理由】

○地域経済を支える地方の港湾は、輸送コストの縮減、国内基幹産業への重要物資の安定供給や近年増加している外国クルーズ船の安全な受け入れに向けて、既存岸壁を最大限に活用するための防波堤整備など、継続した港湾整備が必要不可欠です。

○また、防波堤は、大規模地震時等における津波被害の軽減や、発災後の救援・復旧物資輸送の確保に重要な役割を担っていることから、防波堤の延伸と粘り強い化を早急に講じる必要があります。このような防災対策は安全・安心を確保するための未来への投資と考えます。

地域経済を支える港湾の既存施設の有効活用と災害対応力の強化

◆既存岸壁等を最大限に活用するための防波堤の整備促進

◆地震津波に対し、防災・減災効果を発揮する防波堤の粘り強い化の促進

【高知港 三里地区】



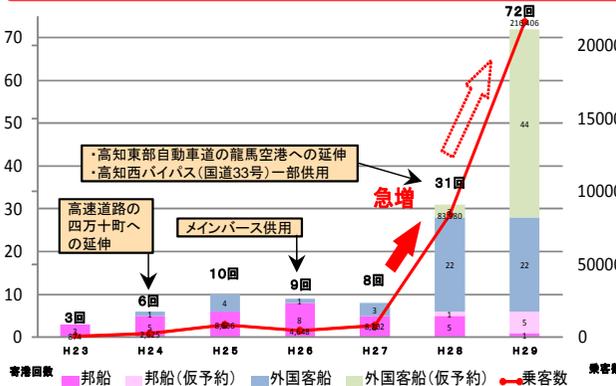
【須崎港】



◆湾口防波堤がH26.3竣工
・津波に対する**安全性が格段に向上**
・静穏度が向上したことにより、臨海部企業の**生産活動が活発化**→H26、H27港湾取扱貨物量が**四国一**

港湾機能強化と誘致活動で、過去最多の客船寄港

高知港におけるクルーズ船寄港回数の推移 (H28.11.18現在)



客船寄港により観光産業が活性化

外国客船の寄港地としての地位を確立し、**寄港の増加・定着化**を図っていくことが重要
更なる受入環境改善



静穏度確保

◆メインバース等(-12m・-11m岸壁)がH26.5供用開始
・岸壁混雑が改善し**利用者の利便性向上**
・平成28年度には、**過去最多の客船寄港**

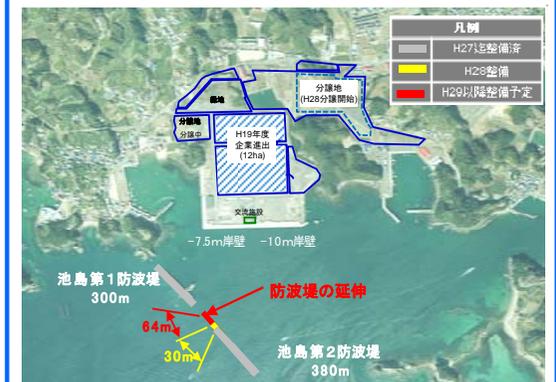
しかしながら、防波堤が**未完成のため**

・波浪により荷役を中断
・客船保留時に係留ロープが破断

静穏度向上のため防波堤延伸

【安全かつ安定的岸壁利用】
・定期的、定時的な船舶の入出港
・クルーズ客船の**寄港定着化**

【宿毛湾港】



◆防波堤が**未完成のため**、波浪の影響を受けやすい

○地域経済を支えるとともに、防災拠点として重要な役割を担う港湾では、岸壁の安定的な利用のための整備や大規模地震に備えた防災・減災対策の推進が不可欠です。
○既存岸壁等を最大限に活用するための**防波堤の整備促進**と、防災・減災効果を発揮する**防波堤の粘り強い化**に**重点投資が必要**と考えます。